

ZOOMウェビナー<学内限定>

新型コロナ時代の 公衆衛生の役割を考える2

2021年2月13日(土) 10:30-12:30

本セミナーでは、地域保健、産業保健、学校保健、そして文化芸術活動の現場で活躍中の方々をお招きして、新型コロナ時代の公衆衛生の役割について、オンライン形式で語っていただきます。

これからの公衆衛生を担う皆さんの積極的な参加を歓迎します。

※本講演会は学内限定です。SNS等への投稿はしないようお願いします。

参加登録
はこちら



詳細はパブリックヘルス学位
プログラムのホームページ
(<https://hcph.tsukuba.ac.jp/>)
からご案内いたします。

当日の様子は、後日オンデマンド
配信を予定しております。

10:30 | 挨拶

挨拶 ヒューマン・ケア科学専攻長、パブリックヘルス学位プログラムリーダー 武田 文 教授
挨拶 公衆衛生学学位プログラムリーダー 我妻 ゆき子 教授
司会 ヒューマン・ケア科学専攻 FD・国際交流連携委員長 市川 政雄 教授

10:40



コロナ禍における保健所の活動～熊本県人吉保健所より

Countermeasure activities against COVID-19 in rural public health center
- from Hitoyoshi public health center, Kumamoto

劔 陽子 熊本県人吉保健所 所長

(Yoko Tsurugi, M.D., PhD. Director, Hitoyoshi public health center, Kumamoto)

熊本県人吉保健所のような田舎の小さな保健所でも、この1年間はコロナ対応に追われました。一例目の病院勤務医の事例では、地域がまさにパニックに陥りました。会社員、災害支援者等の事例を経験しましたが、それぞれ産業保健や災害支援の在り方、地域医療の強さ、弱さ等々、色々考えさせられました。また令和2年7月豪雨の際は、コロナ禍における最初の避難所運営に関わることになりました。保健所員共に尽きるとも言える活動の一端をご紹介したいと思います。

11:10



職域および学校での新型コロナウイルス感染症対策とその副作用低減

COVID-19 response and reducing secondary negative health impact in workplaces and schools

黒田 玲子 東京大学環境安全本部 助教/産業医

(Reiko Kuroda, M.D., M.P.H., Ph.D. Research associate / Occupational physician, Division for Environment, Health and Safety, the University of Tokyo)

COVID-19の流行が始まり1年が経ちました。当初は得体の知れない感染症でしたが、最近では感染症拡大抑制と会社や学校の活動を両立させる対策のポイントが分かってきました。しかし、COVID-19へのリスク認識と不安は個人差が大きく、対策長期化に伴い疲弊は増し、新たな格差と弱者が顕在化しています。公衆衛生の専門家には合わせて健康への負の影響を捉え解決していく役割が期待されています。1年を振り返り、当事者及び専門家として経験した会社や学校(主に大学)での感染症対策と、それに伴う副作用緩和のための活動について、報告します。

11:40



「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト関連の活動報告」 —音楽活動再開への支援

Supporting activities of the project "#ContinueClassicalMusicUnderCOVID-19"

縣 智香子 NTT東日本関東病院 感染対策推進室 感染管理認定看護師、
国立看護大学校研究課程部(修士)在学、東京都看護協会 新型コロナ対策プロジェクト アドバイザー

(Chikako Agata, NTT Medical Center Tokyo, Infection Control Division, Certified Nurse in Infection Control, National college of Nursing, JAPAN, Master's student, Tokyo Nursing Association, Advisor of COVID-19 infection control)

昨年春、新型コロナウイルス感染症の流行に伴いプロアマ問わず全てのクラシック音楽活動が停止しました。活動再開に向け「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」が有志により結成され、鑑賞・楽器演奏・歌唱による感染リスクを飛沫測定実験で評価しました。私は感染管理の経験に基づき、演奏会・練習および関連活動における感染対策を立案し、提言としてガイドラインにまとめました。それ以後、複数のプロオーケストラ・合唱団・音楽大学の活動再開に伴う感染対策の相談に継続的に応じています。これらの活動について報告します。

12:10 | 質疑